

がわにし

広報かわにし

No.535

平成15年3月10日



書は自由!



特集 楽しんで書こう…2
真剣に考えよう合併について…8
まちの話題…18

人口の動き

—3月1日現在—

男	4,007 (－3)
女	4,097 (－5)
計	8,104 (－8)
世帯数	2,277 (+1)

() は前月比較

楽しんで書こう

2002サッカーワールドカップの公式エンブレムとポスターのデザインを手がけた平野壮弦さん（山野田出身）が、母校の川西中学校で授業と講演を行いました。

墨と筆を使って自分のイメージを形にしていくな平野さんの「書」は、「習字」という枠から解き放たれた自由な世界へ生徒たちを導きました。

しかし、商業書道という新しい書の世界を切り開いた平野さんのこれまでの歩みは、壁や挫折との闘いの連続でした。その体験を静かに語る平野さんの姿に、生徒たちは何を感じ、何を学び取ったのでしょうか。

ようこそ先輩

二月五日、川西中学校（長谷川浩司校長）で、当町山野田出身で商業書道家の平野壮弦さんを講師に迎えての授業と講演会が開催されました。

これは、「各界で活躍する地元出身者を招いて

①授業をしていただく②講演をしていただく③作品を通して交流をしていただく」（長谷川校長）ことを目的に、同校の総合学習の一環として実施されたものです。

この日は、午前



いかにも高い「岳」

中に一年生を対象にした授業が行われ、午後は全校生徒を対象にした講演会が実施されました。その内容の一部を紹介しましょう。

上手な字より楽しい字を

一年生全員（二クラス・七〇



清涼感あふれる「滝」

人）を対象にした授業は、給食室を会場に行われました。

「書道」の授業ということで、墨と筆を持って集まった生徒の表情にはいくぶん緊張感が漂っていました。平野さんが、紙にいきなり自分の名前を大書して自己紹介すると、次第に緊張も解けていったようです。

授業は、まずクイズから入りました。平野さんがあらかじめ書いてきた書が、何という字（漢

■平野壮弦氏プロフィール■

- 1961年山野田生まれ。本名平野治人
- 小学生の頃から書道を学び、10代で中国古典書道師範となる。
- 大学卒業後、中学校英語教師となるが、「書を生活の中に生かしたい」と商業書道（商業書道）の道に入る。
- 2002年サッカーワールドカップの公式エンブレムの制作を依頼される。韓国の作家とともにデザインした公式ポスターは、世界中の人たちを魅了する。

●主な作品

- ・サッカーW杯公式エンブレム
- ・山本山「新茶」ポッカ「お茶」永谷園「おむすびいろいろ」（商品ロゴ）
- ・「日本料理・藤」（店舗ロゴ）
- ・「千手温泉・千年の湯」
- ・川西町「かわにし」ほか多数

字）なのかを当てるものです。

中国古代の象形文字から平野さんがデザインしたものまで何十種類もの字が示されました。「鳥」「華」「虎」「岳」「雪」など、なじみの深い漢字ですが、書かれた書は、規格的なものではなく、イメージをふくらませたとっても感覚的なもの。それだけに、生徒たちの若い感性はすぐにその世界に順応して、次々とクイズを解いていきました。

次いで、この日が節分直後だったことから全員で「鬼」という字を書くことになりました。ここで、大切なことは何なのかを平野さんは次のように語りました。

平野 「上手な字」を書くこととしないで、「楽しい書」を書く

ように心がけてみてください。

先ほど見ていただいた私の書は、「字」の形をデザインしたものではなく、「鳥」だったものに對する私のイメージを形にしたものです。想像力を働かせて感覚で書くということが大切です。

例えば、「鬼」という字の中には「口」という形がありますが、これを「口」という文字Ⅱ記号としてとらえるのではなく、「口」あるいは「田」のような図形と考え、そこに鬼に對する自分のイメージを重ね合わせて書にしていきたいと思います。

自分なりの「鬼」



「鬼」にもいろいろなタイプがあるんですね



楽しい、かわいい「鬼」を書こう

ということ、全員自分なりの「鬼」に取り組みました。しかし、「イメージ」といっても、ずっと手本を見習って書いてきた習慣から抜け出すのは簡単にはできないようで、最初は「書道的」な「鬼」を書く生徒がほとんどでした。

それでも、中には、筆使いも書き方も自分なりに工夫して取り組む生徒もあり、出来上がったユニークな書が周りに影響して、次第に「楽しい」書が広がっていききました。そこは、若い柔軟な感性の持ち主、順応するのも早いようです。

さて、「鬼」を感性で書くことを体験した後は、次なるステップへ。生徒たち自身が所属している部活動のロゴマークを書いてみることにになりました。再び平野さんのアドバイスです。

平野 見た人が「お！」と思うような面白いものにしてほしい。自分たちの活動にふさわしいイメージを考えましょう。漢字の原点である絵文字のようにするのでもいいかもしれません。アルファベットは組み合わせ



みんなで作品を見せっこ

ないとことばの意味が分かりませんが、漢字は一字で意味が分かります。視覚で理解できる漢字の利点をうまく生かしましょう。

天才的な作品出現

で、みんな一斉に部活動のロゴ制作に取りかかりました。あっさりと「野球部」「テニ



「センス抜群」と絶賛された高津君の「卓球」

ス部」などと普通の書体で書き上げる生徒、文字とイラスト混じりの作品をいくつも試作する生徒、じつと腕組みをして考え込む生徒、それぞれが持ち味を発揮して三〇分後には全員の商品が出来上がりました。

そして、全員が一斉に作品を掲げて互いの出来映えを確認したあと、平野さんが講評を行いました。

文字の一部をボールやネットにデザイン化した作品や、語呂合わせを巧みに使ったロゴなど、既成概念にとらわれない自由な発想の「書」が高い評価を得ました。中でも、卓球の「卓」の文字を卓球台と選手に見立て、「球」がその中を飛び交う瞬間を表現した高津好孝君の斬新な作品は、「天才的なひらめきがある。このままポスターに使えるようなすばらしい作品」(平野さん)と絶賛され、会場からはどよめきがわき上がっていました。

当の高津君も「もともと絵が

中学時代が最高に楽しかった！



休み時間はサイン責め

好きなのでこの作品ができました。習字でこういうことができるとは思っていなかったもので、新しい体験ができてよかった、楽しかった」と、「書」の世界の新たな魅力の発見に、新鮮な驚きと喜びを感じたようです。

午後からは、全校生徒を対象に「二十一世紀の書の可能性を求めて」と題して講演会が行われました。

そこには、これまで歩んできた決して順風満帆とばかりはいえない道のりを、飾ることなく淡々と語る平野さんの姿がありました。

平野 書は子どものころからずっと関わってきました。最初は、学校で習うような普通の習字を

やっていた。でも、次第にもっと自由な書を書いてみたい、自分の感情や考えを書きしてみたいと思うようになり、この道に入りました。三〇歳のときです。

子どものころはよく遊び、たまにはけんかもしました。信濃川で遊んで流されそうになったこともあります。

小学校五年のときの担任の先生が書の大家で、この先生から手ほどきをしてもらったことが後に生きたのかなと今になって思います。元気がいい書だとかいわれて舞い上がったのが書を好きになるきっかけになったようです。

中学生になると、空手道場に通うかたわら十日町市の習字塾に行き、雑誌のコンクールなどに出すようになりました。中学生のこの時期が、最高に楽しかったと思います。

高校に入ると、「進学進学」とせきたてられてあまり楽しいとは感じませんでした。空手と習字は続けていました。習字塾で中国の古典を学び、面白いと思うようになりましたが、書で



「雪」もこの方がイメージに合います

食べていこうとは思っていませんでした。

一九歳で中国古典の師範に

英語を使って仕事をしたいと思い、大学は英語科に入りましたが、大学で学ぶ英語は学問的で実用性のないものでした。あまり楽しくなかったもので、下宿で夜中まで字ばかり書いていました。欲求不満の表れだったんです。おかげで中国の古い書を学ぶことができ、一九歳で師範になりました。

このころ、「書でやっていきたい」と思うようになり、大学の専攻も書道科に移ろうとしましたが、教授や両親に引き留め

られてそのまま卒業しました。そして、「企業よりも、人とのふれあいを感じることでできる仕事がいい」と思い、中学校の教師になりました。部活動や生活の指導がなかなかうまくいかず悩みました。そんなときに、「書で食べていきたい」と強く思いました。学校が変わりクラスを持ちました。が、「いじめ」の問題で行き詰まり、教師を辞めました。そして、「これからの新しい書の世界をめざそう」と今の仕事を始めました。

「そんなもん売れるわけない」

最初は、コピー紙に書を書き、徹夜で商店の前などに並べました。



生徒のまなざしも輝いています

「そんなもんが商売になるわけないよ」「誰があんたに金なんか払うもんかね」と言われましたが、個展や路上ラ イブなどやりながらPRを続けました。

そのうちに、お茶やお酒のパッケージ、本の題名などの仕事が入るようになり、三三歳で東京に出

ました。そこでもいろんな壁にぶつかりながら仕事の幅を広げていきました。そして、相撲部屋のパンフレットや航空会社の広告などを手がけているうちに、黙っていても仕事が来るようになりました。

韓国の作家とカンヅメに

サッカーワールドカップのエンブレムのデザインには最初か



韓国の作家と共同制作したワールドカップのポスター（左）とエンブレム（右）

ら関わりました。毛筆バージョンは自分だけで書きましたが、公式ポスターは、韓国のアーティストと共同制作しました。

サッカーコートのデザインは、二日間「カンヅメ」になってぶっ通しで書きました。線を一本ずつ二人で分けて書きました。それをロンドンのデザイナーが組み合わせて最終的なデザインが出来上がりました。

韓国の作家は大学の教授で世



ロンドンの作家の作品

界的なデザイン。仕事とは関係なく、公式エンブレムを二人で交互に一筆ずつ線を引いて書いてみました。二人で書く二人分のパワーが引き出されて力強い作品ができます。三〇枚くらい書いて、一番気に入ったものを軸装して持っています。



音楽とともに書のパフォーマンスを繰り広げる平野さん

ゼロ「〇」から「一」に

ここで大事ななのは、書やデザインは技術ではなく気持ちだということです。古典的な書は経験や技術が出来映えを大きく左右しますが、デザインとしての書は自分の持っているイメージが一番大きな要素になります。みなさん一人ひとりが引いた一本の線はこの世に一本しかない線です。みなさん自身が大事なように線も大切です。そのためには、国語の学習も大事です。ことばの意味や力を学び、それを自分のものにしていくことです。基本がしっかりしていれば、新しいことにもすぐに対応でき



筆の使い方も字に影響します

努力は報われる

夢はなかなか実現しないこともあります。それでも努力し続けることが大切です。「努力は報われる」と思います。なぜなら、世の中には「努力しない」人の方が多いからです。人間は

ます。そのことを心に置きながら書に親しんでください。何の世界でもそうですが、「〇」から「一」になることが一番大事なことです。何もしなかったら「〇」は「〇」のまま、行動を起こさなければ、その人は一生「〇」だということです。まず行動を起こして「一」に進むこと、そして自分が楽しんでやれることを続けること、夢を持って行動することが重要です。

壮弦さんの カインとアドバイス

《漢字の基本を学ぼう》

漢字の「右」と「左」では、筆順が異なり、横棒（一）とはらい（丿）の長さも違います。

「右」は「丿」を先に書いて次に「一」書く。「左」は逆で「一」を書いて次に「丿」を書きます。長さも、「右」は「一」の方が長くて「丿」は短い。反対に「左」は「丿」が長い。

（実際、ワープロやパソコンで入力しても、長さの違いが分かります）
この違いは、漢字のもとと



なった中国古代の甲骨文字のさかのぼらないと説明ができません。（逆に古代文字を見ると一目瞭然）

このように、意外に知られていない漢字の常識は結構あります。まず、基本をしっかりと学びましょう。

さわやかに燃えよう

す。人生、長生きしても一〇〇年、「自分は生まれてよかった」と思える人生にしたいと思っています。

元来なまけもの。努力をすればそれだけ夢に近づきます。「温故知新」も大事です。昔の人が残してくれたものを土台にしなが新しいものを作っていくことが発展のもとです。ただ受け継ぐだけでなく、自身自身を信じて自分で工夫して物事に取り組んでください。私は今四〇歳、川西中学校と同年です。「もう四〇」ではなく、「まだ四〇」と思って前向きに生きていこうと思います

川西中学校は、先生や支援者に恵まれています。みなさんはそのことにもっと関心を寄せたべきだと思います。わがままや欲求不満をぶつけるだけでなく、もっとでっかいことにエネ



新しい筆の使い方みつけた

自分で書いた線は世界で一つだけ

授業と講演を受講した生徒の感想の一部を紹介します。

一年一組 蔵品麻弥さん

書道の授業をして思ったことは、書道はただ普通に字を書くだけじゃなくて、自分なりの字とかを書くとか、その字がもつとよくなることを知りました。

ルギーを使ってください。「燃える川中」「さわやか川中」というスローガンはすばらしいと思います。みんなで力を合わせて、ウキウキするような学校にしてください。

寒い体育館の中、生徒たちはしわぶきひとつあげることなく、一時間半に渡る講演に聴き入っていました。

そして、講演の後、会場に用意された巨大な紙に、これまた巨大な筆で平野さんが「活」と大書する姿を、食い入るように見つめる生徒の姿が印象的でした。

身近な先輩のユニークな授業と、失敗も含めて体験談を語った講演は、生徒たちの心にしっかりと響いたようです。

自分で書いた一本の線は、世界に一本（一つ）しかないと思うと、その一本一本は、とても大事なもので、なんだなあと思いました。



平野さんの「気」が入った「活」

パフォーマンスでは、あんな大きな筆を使って、大きな字を書いていて、すごいなあと思った。それと音楽を聞きながら字を書く、またちよつと違うんだなあと思った。

一年二組 渡辺響子さん

自分のイメージで字を書くというのが初めてで、思っていたより楽しく字が書けました。

平野さんが書いた書はとても不思議な感じがしました。紙の真ん中に書かず、右によっていたりしていたのもありました。「鬼」という字を紙にたくさん書いてあったのがありました。一つ一つの「鬼」という字に表情みたいなのがあってとてもおもしろかったです。

このあと、一年生には「自分の信条を書こう」という課題が出され、作品を平野さんに送って講評してもらいました。その結果は次ページのとおりです。

こうしたつながり・交流を通して、第二第三の平野壮弦さんが生まれることを期待したいですね。

第二第三の平野壮弦さん

壮弦さんの ポイントアドバイス

- ・《筆使いのポイント》
- ・筆は穂先だけを使うのではなく、全部おろして使います。
- ・まず、空中に書いてみましょう。
- ・墨は筆の三分の二以上につけましょう。（ケチらない）
- ・紙の中にうまくおさめようとすると書がちじこまるので、大きく元氣よく書きましょう。
- ・手先だけでなく、全身を使って書きましょう。
- ・勢いよく書くことと、早く



粗相に書くこととは違います。スピード時代ですが、書を書くときくらいは落ち着いて、じっくり筆を運ぶように書きましょう。



平野さんが母校のために制作したロゴマーク

川西中学校 1 年生作品
「自分の信条を書こう」
【平野壮弦選・秀作】



smile とただ書いてだけでは芸がない。下に口と鼻をつけたところがミソ。イラスト的にすることで、より smile のイメージが伝わってきますね。



なんで梅干…？でもこのイラストと書のかもし出す雰囲気がピッタリとはまり、とても魅力的で楽しい作品となっています。



野太く力強い線で、紙からはみ出ることもかまわず、元気よく書けています。名前も一見書きなぐりのように見えて、筆力あふれる力強い線が芸術的。



「道」という字を向こう側に倒れたように書くことで、書に遠近感が出ているところが面白い。いっそ、もっと倒して細長くして、ほんとに道に見えるように書いてみるのも面白いかも…。



ハネの部分はちょっとうまくいきませんでした。そのほかは線が実に気持ちよく伸びやかに引けています。すがすがしさを感じさせる作品。



文字を二つに割って、その間にイラストを入れるという発想が新鮮。ちょっとした自分なりのアイデア…。それが大切であるという良い見本です。

真剣に考えよう 合併について

その十七



十日町広域圏合併任意協議会第二回会議が開催されました

平成十五年二月二十一日（金）に十日町市のクロス10を会場に「十日町広域圏合併任意協議会第二回会議」が開催されました。滝沢信一十日町市長が議長となり、議案三件及び報告四件が議題として提出され、全て承認されました。

協議内容

○議案第一号 事務事業調整方針について 構成市町村（十日町市・川西町・中里村・松代町・松之山町）ごとに異なる行政制度をどのような方針に基づいて調整を図るか協議されました。

◆基本となる六つの原則

① 一体性確保の原則 新市に移行する際、住民生活に支障のないよう速やかに一体性の確保に努める。

② 住民福祉向上の原則 住民サービス及び住民福祉の向上に努める。

③ 負担公平の原則 負担公平の原則に立ち、行政格差を生じないよう努める。

④ 健全な財政運営の原則 新市において健全な財政運営に努める。

⑤ 行政改革推進の原則 行政改革の観点から事務事業の見直しに努める。

⑥ 適正規模準拠の原則 自治体の規模に見合った事務事業の見直しに努める。

事務事業の調整区分及び進め方は、別表1をご覧ください。

○議案第二号 十日町広域圏合併任意協議会小委員会設置要領の制定について 協議事項の一部について、深く調査・審議をするために、合併任意協議会のメンバーで組織する小委員会の設置が承認されました。



第2回合併任意協議会

○議案第三号 新市将来構想策定方針について 住民が主体的に合併の是非を考える上で、ひとつの判断材料となる将来のまちづくりの方向（新市将来構想（案））について、次の方針が承認されました。

① 構成市町村を「一体のまち」として考え、地域の特徴や個性を生かし、広域的な新たな視点で均衡ある発展を目指した構想（案）とする。
② 策定当初の段階から住民が参画し、まちづくりに望む住

民の意見を幅広く取り入れ、住民福祉の向上を目指した構想（案）とする。

○報告第一号 十日町広域圏合併任意協議会新市将来構想検討委員会委員の選任報告について まちづくりの方向（新市将来構想（案））を検討するために組織する「新市将来構想検討委員会」の委員二十五名（構成市町村各五名ずつ）の選任について報告されました。

○報告第二号 監査委員の選任報告について 合併任意協議会の出納状況を監査するため、川西町の根津昭一収入役及び松代町の高橋宣泰収入役の選任について報告されました。

○報告第三号 十日町広域圏合併任意協議会諸規程の制定報告について 合併任意協議会の円滑な運営を図るため、組織体制などの諸規程が報告されました。

① 幹事会の設置要領
② 専門部会の設置要領
③ 分科会の設置要領
④ 事務局規程
⑤ 財務事務要領

○報告第四号 第三回協議会開催日程及び提出予定議案について 三月二十五日（火）に川西町総合センターで開催される第三回合併任意協議会の内容が報告されました。

第一回新市将来構想検討委員会が開催されました

二月二十六日（水）に中里村の総合センターを会場に第一回新市将来構想検討委員会が開催され、合併任意協議会長から将来構想（案）について諮問を受けました。委員会では本年八月下旬の答申を目指して、次の二つの部会を組織し構想（案）の策定作業に着手します。

新市将来構想検討委員会 組織図

○委員長 高津富士男 さん（川西町） ○副委員長 山岸富司雄 さん（松之山町）	
部会名	担任分野
A 未来へはばたくふるさとづくり部会	自然環境・都市基盤・生活環境・産業分野
B 温かく支えあうふるさとづくり部会	保健・医療・福祉、教育・文化、連携・交流、住民活動支援、行財政分野



第1回検討委員会の様子

川西町からは、次の方々が委員として新市将来構想検討委員会に参画します。

(敬称略)

氏 名	町内名	所属部会
小林 重則	木 島	A 未来へはばたく部会
古沢 実	上 野	A 未来へはばたく部会
数藤久美子	沖 立	B 温かく支えあう部会
高津富士男	寺ヶ崎	A 未来へはばたく部会
藤井 崇	赤 谷	B 温かく支えあう部会



川西町の委員、左から小林、数藤、高津、藤井、古沢の各氏

席上、新市将来構想検討委員会を代表する委員長に高津富士男さん（寺ヶ崎）が選任されました。



委員長に就任した高津さん

※二月一日から十日間、住民の皆様には本委員会委員を公募したところ、大勢の皆様から応募いただき感謝申し上げます。ご希望に添えなかった方々のご意見・ご提言を今後の協議の中で十分に反映していきたいと思えます。

かわにし合併物語

第三回合併任意協議会 川西町で開催

合併任意協議会は月一回の予定で、関係市町村の持ち回りで開催しています。この合併任意協議会は公開を原則としていますが、どなたでも傍聴できます。合併問題を身近に感じてください。合併のために、大勢の住民の皆様のお越しをお待ちしています。

第3回
十日町広域圏合併任意協議会
開催予定
平成 15年 3月 25日(火)
午後2時から
川西町総合センター大ホール

新市将来構想検討委員会の資料をご覧ください

川西町会場では、合併に当たり協定しなければならない基本的かつ大変重要な項目である「合併の方式」について協議されます。合併の方式には「新設合併」と「編入合併」の二つの方式があり、関係市町村が合併するとしたら、どの方式で合併するか確認されます。

将来のまちづくりの方向（新市将来構想（案））がどのように検討されるかは、大変重要なことです。町では新市将来構想検討委員会の資料を検討過程の情報として、次の場所で開催していますので、お読みください。

□川西町役場の
住民係待合コーナー

□川西町総合体育館の
窓口資料棚

構成市町村の概要をチェック

合併任意協議会に参加している関係市町村の基本的な情報（人口推計予測・面積など）を資料1にまとめましたのでご覧ください。

こちら合併任意協議会



ホームページ新登場

合併任意協議会では、話し合われている内容などを掲載したホームページを開設しています。

合併任意協議会ホームページ

<http://www11.ocn.ne.jp/~t-gappei/>

掲載内容

- 合併任意協議会組織図・委員名簿・日程
- 合併任意協議会議案・会議録
- 新市将来構想策定方針
- 全体スケジュール
- 事務事業調整方針
- 皆様からのご意見
- 事務局の組織と場所

川西町のホームページからもリンクしていますので、ぜひご覧ください。

また、合併に対するご意見などをeメールで送信できるようになっていますのでご利用ください。

アンケートを実施します

合併任意協議会では、新市将来構想（案）の策定にあたって、住民の皆様のご意見やご要望などを広くお聞きするため、関係市町村にお住まいの満十六歳以上の住民三〇〇〇人を対象に三月十日頃からアンケート調査を実施します。対象者は関係市町村・性別・年代別の構成比率により均一になるように抽出されます。川西町からは約四〇〇人の方が無作為に抽出され、アンケート用紙が郵送されます。ご自宅に届いた方は、ぜひご協力をお願いします。

会議あれこれ

▼一月二十八日（協議会事務局）

第一回市町村計画担当課長会議が開催され、会議の運営方法や、新市将来構想及び新市建設計画の進め方について協議しました。また、会議の座長には十日町市、副座長には川西町の担当課長がそれぞれ選任されました。

▼二月十三日（十日町市）

十日町広域圏合併任意協議会（会長・山本中里村長）の第一回幹事会（助役・合併担当課長で構成）が開催されました。幹事会の幹事長に関口芳史十

日町市助役、副幹事長に押木久之川西町助役がそれぞれ選出されました。

また、第二回合併任意協議会に提出する議案内容の確認や電算業務の調整課題などを検討しました。

▼二月二十日（協議会事務局）

第二回市町村計画担当課長会議が開催されました。主な内容は二月二十六日に開催する第一回新市将来構想検討委員会での協議事項について確認しました。

▼二月二十一日（十日町市）

第二回十日町広域圏合併任意協議会が開催されました。詳細は8ページをご覧ください。

▼二月二十六日（川西町）

川西町議会へ合併任意協議会事務局職員による合併任意協議会の運営について説明がありました。

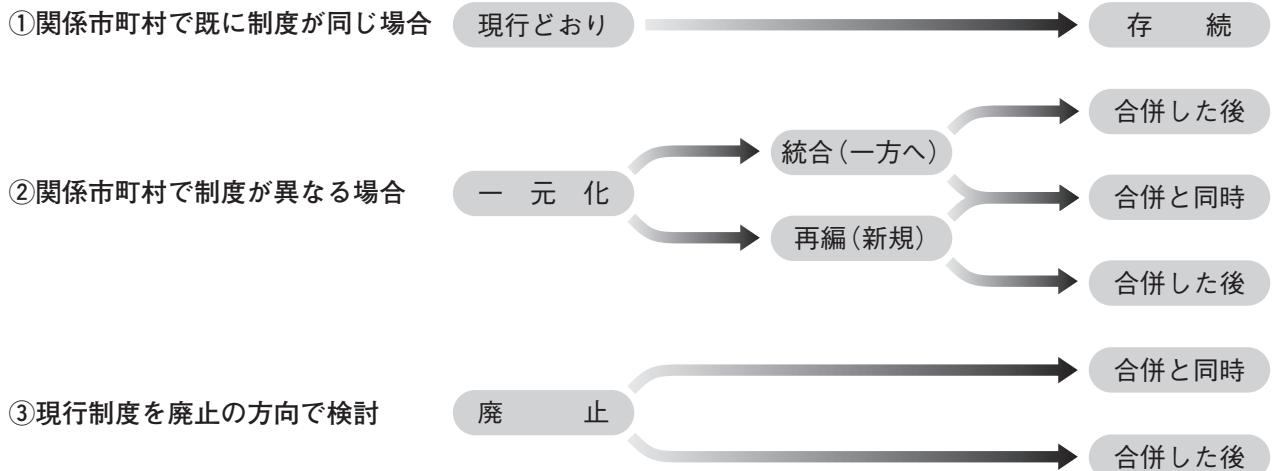


議場での説明会

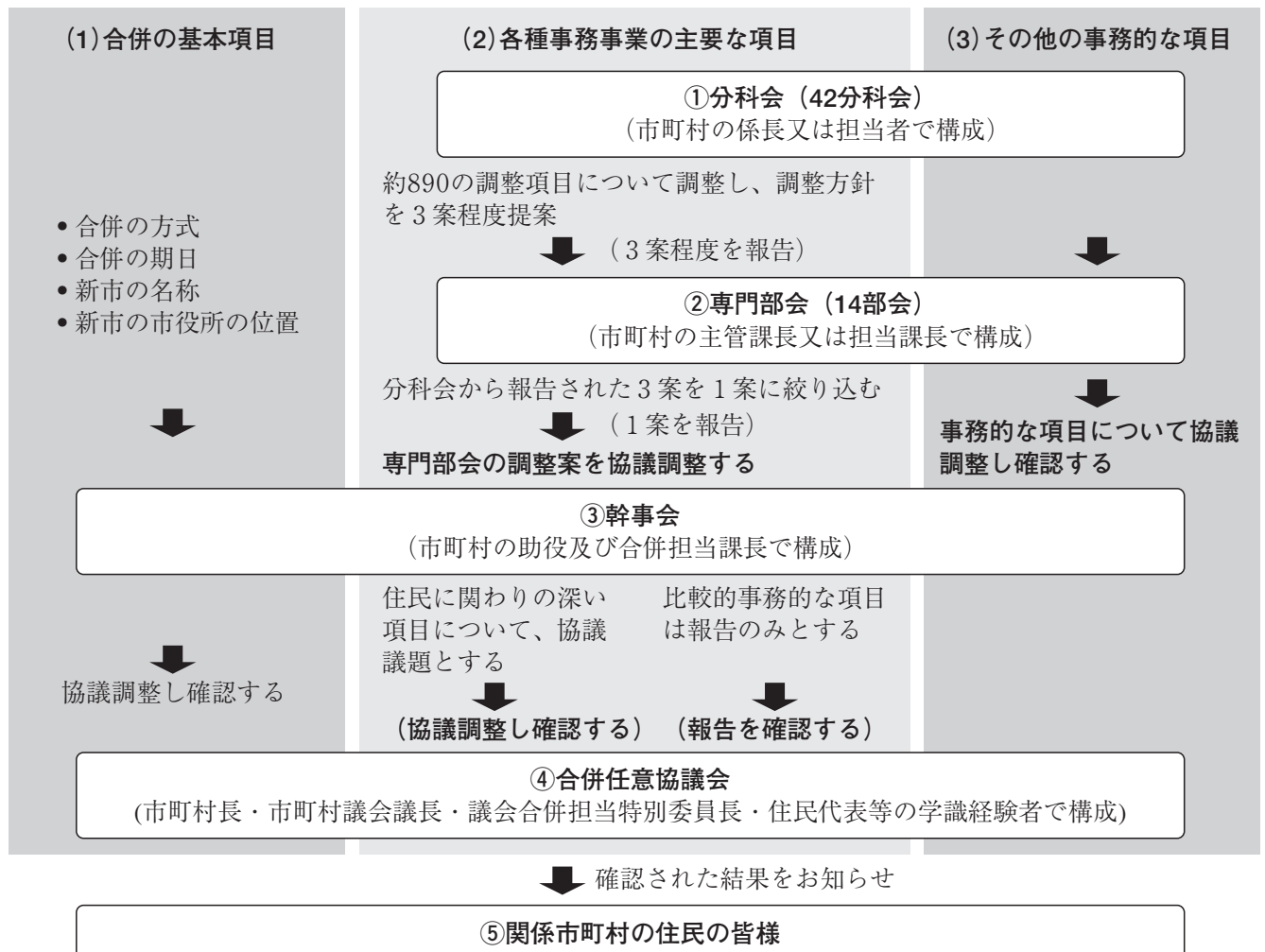
議員からは住民の意見をどのように反映していくかなどの質

別表1 事務事業の調整区分と進め方

〔調整区分〕



〔進め方〕



問も多く出され、活発な説明会になりました。

▼二月二十六日（中里村）

第一回新市将来構想検討委員会が開催されました。詳細は8・9ページをご覧ください。

▼三月十三日（十日町市）

第二回新市将来構想検討委員会が開催されます。

▼三月二十五日（川西町）

第三回合併任意協議会が川西町で開催されます。大勢の皆様のお聴きをお待ちしています。



協議会だより創刊

合併任意協議会では、ホームページのほかに、「合併任意協議会だより」を発行し、話し合われた内容をお知らせしています。



このほど、創刊号を二月二十七日に町内の全世帯へ嘱託員を通じて配布しました。今後継続して発行されますのでお読みください。なお、協議会だよりは、十日町市、中里村、松代町及び松之山町の全世帯へ配布されます。

資料1 構成市町村の概要



市町村章（マーク）



十日町市



川西町



中里村



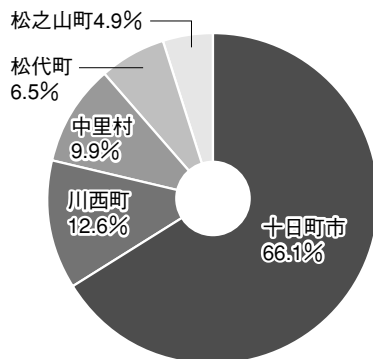
松代町



松之山町

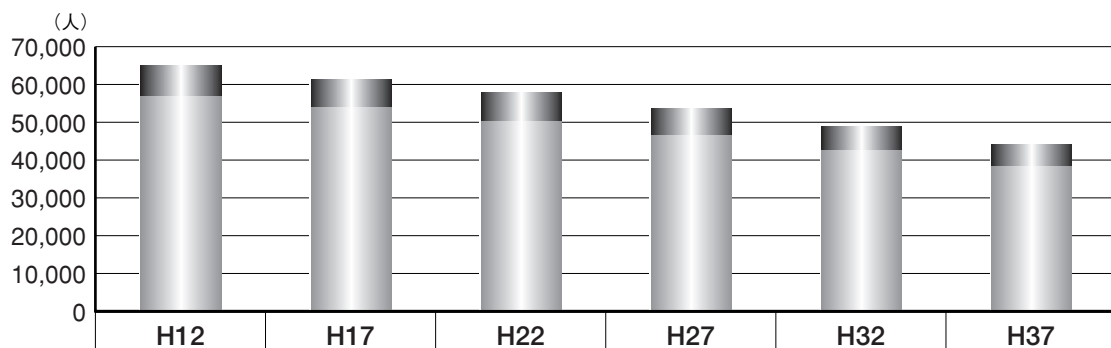
人口（平成12年国勢調査）

（単位：人／％）



	0～14歳	15歳～64歳	65歳～	合計
十日町市	6,394 (68.6%)	26,485 (68.7%)	10,123 (59.0%)	43,002 (66.1%)
川西町	1,119 (12.0%)	4,833 (12.5%)	2,233 (13.0%)	8,185 (12.6%)
中里村	1,002 (10.8%)	3,534 (9.2%)	1,886 (11.0%)	6,422 (9.9%)
松代町	470 (5.1%)	2,188 (5.7%)	1,582 (9.2%)	4,240 (6.5%)
松之山町	330 (3.5%)	1,513 (3.9%)	1,341 (7.8%)	3,184 (4.9%)
計	9,315 (100.0%)	38,553 (100.0%)	17,165 (100.0%)	65,033 (100.0%)

5市町村の人口推計予測（H12国勢調査ベース）※コーホート変化率法で推計したものです

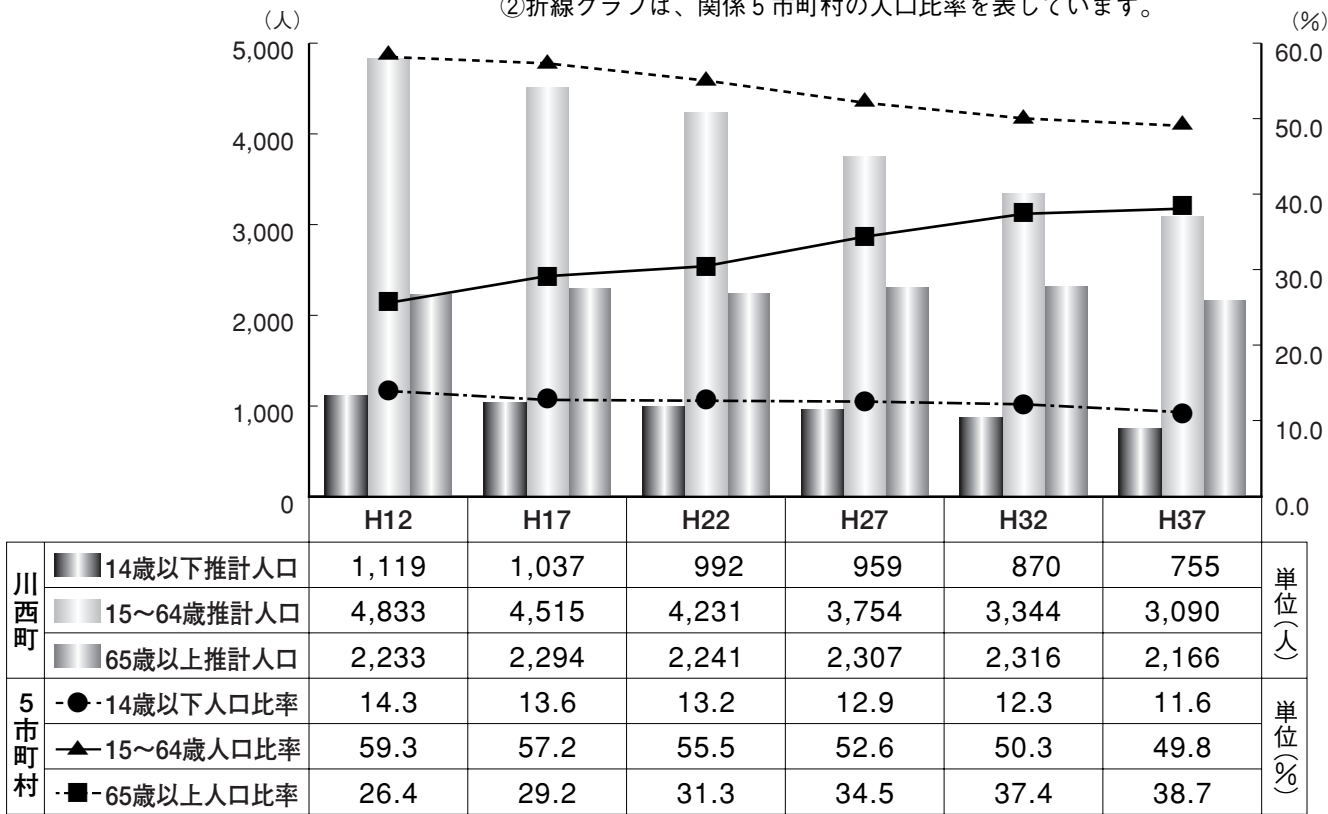


（単位：人）

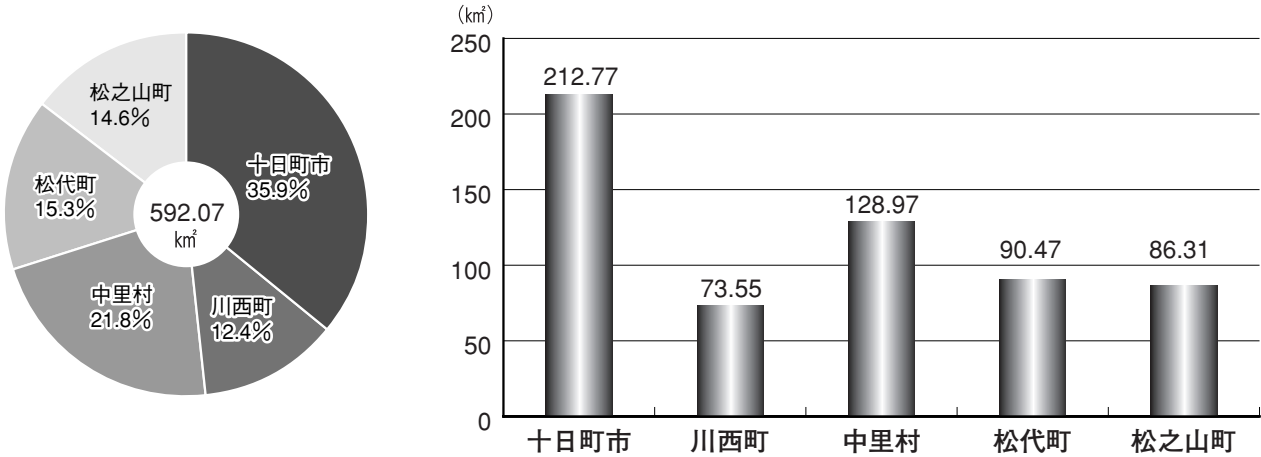
	H12	H17	H22	H27	H32	H37
川西町	8,185	7,846	7,464	7,020	6,530	6,011
他4市町村の計	56,848	53,886	50,318	46,551	42,405	38,195
合計	65,033	61,732	57,782	53,571	48,935	44,206

■年代別人口比率の推移

※コーホート変化率法で推計したものです。
①棒グラフは、川西町の年代別推計人口を表しています。
②折線グラフは、関係5市町村の人口比率を表しています。



■面積 (単位km²)



■市町村の木・花・鳥など

市町村名	木	花	鳥	色	動物
十日町市	きり	山つつじ			
川西町	ぶな	山ゆり	きじ	黄緑色	
中里村	スギ・ブナ	ユリ	ウグイス		
松代町	ブナ	雪椿の花	ノジコ		むささび
松之山町	ブナ	シラネアオイ	アカショウビン		

下平新田の開発

いつごろ出来たのか分からない村々が多いのに、下平新田の場合は、その開発経過を示す明らかな資料が残っている。

いまの下平新田の地域は、村として独立するまでの間、上野村の分に含まれていた。恐らく、雑木や灌木の生え茂った一面の荒れた原であったことだろう。そして、上野村の住民が、僅かな畑を開いて、ささやかな耕作を行っていたものと思われる。

越中富山から移ってきた清水源助が、元和年間（一六一五～二四）に上野村へ落ち着き、寛永元年（一六二四）から開発に着手したと伝えている。

同十年に最初の検地が行われて、田六町三反余と畑一町六反余の石高九三石余が認められた。このときは、「妻有ノ上野村新田」と表書きされ、開発の



静かなたたずまいの下平新田

地名は芹沢・下平とある。現在では、どこ場所であったか具体的な位置は分からないが、下平と呼ぶのは現集落のあたりで畑が開かれ、芹沢は一段さがった湿地帯であったことだろう。

耕作者の名義は多数で、上野本村からの出作りが大半であったと思われるが、千手地内の水口沢・伊勢平治村や、仙田村住民の名もある。

開発主導者である源助の持ち分は田一二反余の高二石七斗余で、それほど多くはない。ただ、

土の出身が公的に認められていたものであろうし、開発が次々と進んでいたことが十分にうかがえる。

なお、寛永十年検地帳は、川西町において保存されている最古の検地帳である。

正保二年（一六四五）絵図には下平新田の村名が書き上げられているけれども、石高の記載はない。一応の検地は済んだとはいっても、公的な扱いでは開発途中の暫定的な高であったものか。そして、明暦年間以後

おらうらの話 (第二十三回)

上野 上村 政基

願正寺名義の田が一町五反余で高が九石八斗余とあるけれども、この寺についての伝承は全く伝えられていない。

また、屋敷と認められた土地が見当たらないので、作小屋程度のもは別として、本格的な家づくりはまだのようである。

この開発について、寛永十五年には領主から源助個人あてに賞詞があり、六年後の明暦二年（一六五六）には、功労によって高一〇石が年貢免除されている。いずれも、宛名が「清水源助」と明記されているので、武

増えているが、新規開墾が進められたことはもちろんであるけれども、別に検地方式の変更があつて計算上の割り増しがあることも忘れてはならない。

元禄七年（一六九四）改村鑑には、家一二軒、人数八六八人（男五二・女三四）と馬一一匹が記載されている。また、このころ浄土真宗西永寺の所有地で田畑約一町歩の除地（年貢免除地）があり、他に四反部の畑もあつて、寺と住民たちのつながりが強かったことを物語っている。

文化二年（一八〇四）ごろ作成の白川風土記に、戸数二五軒とある。一〇年間に倍増している。

仏と川と貯水池

現在五一戸のうち三三戸が浄土真宗檀家で菩提寺とのつながりが濃く、各地で毎年行われる信心講は、下平新田が初講ときまつている。だから、小白倉と同様に、集落内には堂や神仏塔がひとつも見当たらない。

阿弥陀如来にお祈りするだけだから、各戸に神棚を設けることもなく過ぎてきたが、第二次世界大戦中に強制指導されて、ようやく皇大神宮などを祀るようになったくらいである。

土居川のことは以前に書いたけれども、土居というのは、土を盛りあげて突き立てて作った

土堀や土堤のことである。

上野地内の田から流れる落尻の水を引き、集落の一段下に導いて利用する貴重な人工の川であり、春耕の前に関係者が全員出勤して、江浚い（江払い）を行っていたものである。



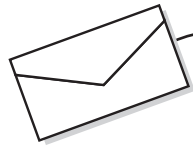
水辺公園に生まれ変わった堤

集落の南端にある堤は、上野地内の余水が集まる沢田川を引いて貯水していた。文化二年の資料に、「村中が維持費を出しあつて取繕い、この水で高七〇石の田を耕作し」とあり、土居川については、「残りの高三〇石分は、上野村・新町新田の流末で賄つてきている」とある。

明治年代からは、青年会が養鯉を許されていて、飼育管理がチームワークの育成に役立つとともに、貴重な運営資金源になっていた。

現在は、農村公園の造成工事が進められており、二百年余の歴史を閉じようとしている。

お寄せください あなたの 意見・提案・質問



が、一つにまとまって協力・連携することによって充実した支援ができるのではないかと考えています。

②学童保育指導員をしているが、学校の代休や長期の休みにについても事業実施を願いたい。また、定員があるため、希望しても預けられない児童がいるのではないかと。行政と保護者、指導員とで話し合い、充実した学童保育内容となることを望む。

〈できるところから始めます〉

A ①まず、現状について申し上げますと、住民福祉課では県の民間児童厚生施設等活動推進等事業費等の補助を受けながら子育てネットワーク「ひろば」に補助金を支出しています。また、十二月から三月までの間、上野コミュニティセンターで子どもたちへの遊びの場の提供を行っています。

町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくり生かしていきたいと、「まちづくりについての提言や意見」をいただいています。

子育て支援 横の連絡を密にして

Q (35歳・女性)
①子育て支援の施策がい

くつつもの課にまたがっている。社会福祉協議会では、平成十四年度の単年度事業として県社会福祉協議会の共同募金会からの補助金をいただいて、十一月から三月まで、橘コミュニティセンターで月二回「ふれあい・子育てサロン」を開催し、交流の場の提供、子育て家庭の孤立感の解消、育児不安の解消など家庭支援を行っています。冬期

間実施の上野・橘コミュニティセンターの参加者は祖母も多く、普段着のまま立ち寄れるという地域に密着した活動を展開しています。また、意見交換の場として生きがい対策にも役立っていると考えています。



継続で補助する予定です。社会福祉協議会では新年度事業計画を策定しているところですが、すくすく教室については、委託先を「親子遊びの会ほっぺ」にする予定で、回数も増やしたいと考えています。

いずれにしてもそれぞれの会の特徴、補助金からみても、一つにまとまるのがすべてではないので今すぐというわけにはいきませんが、横の連絡を密にしながらかける所から実施していきたいと考えています。

〈来年度は定員が増えます〉

②学童保育は、平成十四年度から町の単独事業として千手保育園で実施してきました。十三年度までは希望する児童が少なかつたので、全員を受け入れることができました。

教育委員会では、保育園にある前の子どもを対象に、すくすく教室を月二回子育てネットワーク「ひろば」の皆さんにお願いして実施しており、川西町民のみならず多数参加していただいています。

以上が現状ですが、平成十五年度の予定は、住民福祉課では

いことなどの受け入れ基準を設け、該当する方から申し込みいただきました。その結果、年度当初からの受け入れ児童は四人となりました。

十五年度からの学童保育は、千手保育園で国の補助事業を導入して実施する計画です。現在実施要綱の案をまとめている段階ですが、対象児童は、町内に住所があり、家族が労働等により昼間家庭にいない小学校一年生から三年生までの児童とし、定員については一〇人とする。とで、希望の児童には概ね対応できるものと考えています。希望者が定員を超えた場合は基準によって選考させていただきます。となります。

利用時間については、保育園が開所している月曜日から金曜日の放課後から午後七時までとし、小学校の春季、夏季、冬季休暇中は午前八時から午後五時までとしたいと考えています。

なお、学校が代休となった際の受け入れも検討を要します。

千手地区以外の児童の希望には、送迎方法などが検討事項となります。

児童と保護者が安心して利用できる学童保育を実施するため、関係者の連携が大切です。前向きな提言をお寄せいただき感謝してまいります。

生産調整目標面積等を配分



平成15年度の生産調整目標面積等が2月に各集落へ配分されました。
川西町においては、県から302.6ヘクタールが配分され、昨年比8.47%の増、面積にして23.62ヘクタールの増加となりました。

生産調整に対する限界感はずす強くなる一方ですが、国産米在庫を適正量へ引き下げ、米価を安定させることは農家所得の変動を抑えるうえで重要なことです。また、平成十六年度からスタートする「米政策改革」への移行をスムーズに進めるためにも、生産者が一丸となって取り組み、農家と生産組織等が

所得の確保を推進しています。この取り組みが、農家所得に大きく影響を与えます。町としても集団転作への転換に対し、支援策を設けて推進を図っていきます。また、転作田における園芸作物栽培への支援や、「地産地消支援事業」も用意していますので、これらを有効に結び付けて、

一体となったまとまりのある生産体系を推進し、農業経営の体質強化を図る必要があります。国・町支援策を活用しての全集落の目標達成をお願いします。

●所得確保に町も支援します

町では、平成十二年度から推進している大豆、そば等の団地・集団での栽培を軸に、米以外の作物からの収益と国の助成金とを合わせて、米に代わる

転作田からの収益向上を図っていただきたいと思っています。しかし、国の助成金などの有利な支援を受けるには、集落における目標面積の確実な達成が必須になります。各集落においては、目標達成に向けて積極的な推進をお願いします。

川西町

平成15年度の米の作付面積に関するガイドライン（主食用水稻）	753.27 ha
平成15年度生産調整目標面積	302.60 ha
参考：平成15年度の米の生産数量に関するガイドライン（主食用水稻）	3,963.71 ト

だんだんどーも！ ⑬

ハッピークラブの巻

「いいよー、おもしろいよー」。ハッピークラブの感想を聞くと、柳章平さん（十日町市川治）は即座にそう答えてくれました。



だんだん参加者が増えていきます。親子で参加している人もいますよ。あと、ボランティアの人たちも毎回来てくれます」という小宮山さんの隣で、「そうだよ、高校生とのふれあいが一番楽しいよ」と柄沢奈緒子さん（沖立）が続けます。

桑原麻衣さん（津南町）と滝沢千晶さん（十日町市）はともに八海高校の三年生。「もともと福祉の道に進みたかったの

で、ごく自然にボランティアとして参加しています。進学も決まっています。ただ、次のボランティアの人たちが続いているといいですね」。桑原

さんは自分が卒業した後がちょっと心配そう。

「俺は、やっぱり料理が一番いいな」と柳さんがきっぱり宣言すると、廊下を隔てた調理室の方から、カレーライスの香りがお昼を告げにやってきます。始めて二年になりますが、

国保診療所からお知らせ

四月一日から

診療所長と

診療体制が変わります

■診療所医師が変わります

長年、町国保診療所長として
お勤めいただいた富永医師が三
月末日をもって退職されること
になりました。後任には、仙台
市の佐藤病院から遠藤信也医師
をお迎えし、四月一日から診療
を開始することになります。

■診療日が変わります

◎診療日

①月～金曜日（ただし、第一・
三土曜の週の水曜日は午前中
のみ）

②第一・三土曜日は午前中のみ

◎受付時間

午前 八時半～十一時

午後 一時半～五時半

■予告

①三月三十一日（月）及び四月
一日（火）は、所長引き継ぎ
のため、午前十時の開診とし
ます。

②三月二十日（木）は、都合に
より午後五時に閉所します。

■問い合わせ

国保診療所 ☎ 68-2034

相談

結婚相談員に
お気軽に
ご相談ください！

町内にお住まいの独身の皆様
及びご家族の方々は、お気軽に
おいでください。

なお、事前に予約をしていた
だくと待ち時間が少なくて済み
ます。

■日時 三月十八日（火）

午後一時半～五時

■会場 仙田克雪センター

■担当相談員 小海貴代美さ
ん、中村伊勢男さん

■問い合わせ・予約先

役場農業委員会事務局

☎ 68-3111 内線 335



心の健康相談

痴呆や不眠、やる気がおきな
い、不安や心配で仕事に手につ
かない、不登校やひきこもりな
どの心の健康に関する悩みや心
配がありましたら、遠慮なくご
相談ください。相談は個室で行
い、秘密は守られます。

■日時 三月二十五日（火）

午後一時十五分～

■会場 保健センター二階

■担当 江口医院 江口医師

■申込期限 三月二十四日（月）

■申し込み 保健課健康推進係

☎ 68-3111 内線 235



集い ふるさとを考える

県の地域機関が、地域の課題
やニーズ・振興策について、住
民代表と意見交換を行います。

■日時 三月十七日（月）

午後一時半～四時

■会場 総合センター大ホール

■テーマ 川西町の地域振興を
考える！

■問い合わせ 開発課地域政策

係 ☎ 68-3111 内線 311

ご参加ください！
住民活動の拠点となる
「コミュニティ施設
基本構想」報告会

たくさんの方々のご参加をお
待ちしています。

■日時 三月二十四日（月）

午後七時～

■会場 総合センター大ホール

■主な内容 これまで四回のワ
ークショップで積み上げてきた
皆さんの意見をまとめた基本構
想案の報告を行います。

■その他 県道⑤小千谷十日町
津南線の街路工事に伴い、総合
センター入口付近が工事中で
す。十分ご注意のうえご来場く
ださい。なお、総合センター前
の駐車場が利用できない場合
は、役場等の駐車場をご利用く
ださい。

十日町広域圏地方分権推進
シンポジウム

～地方分権と
市町村合併～

個性豊かで活力に満ちた地域
社会の実現を図るため、地域で
どう実現していくか、地方分権

に詳しい講師を招いて基調講演
を開催します。

■日時 三月十五日（土）

午後六時～九時

■会場 十日町市 クロス10

■プログラム

◎第一部 基調講演

演題 「地方分権と市町村合併」

講師 PHIP 総合研究所主任研
究員 荒田英知氏

◎第二部 パネルディスカッシ
ョン 「将来の十日町圏域につい
て」

■パネラー 川西町代表 金子
ヒロ子さん（妻有郷食の研究會
「しぶみ工房」）

ほか、各市町村代表者、県総務
部新行政推進室室長補佐

■その他 マイクロバスを運行
します。利用を希望する方は、
役場開発課へ申し込みくださ
い。

■バス運行時間表

五時 仙田体験交流館前

五時十五分 橘小学校前

五時二十分 上野小学校前

五時二十五分 川西町役場前

■申し込み・問い合わせ

開発課地域政策係

☎ 68-3111 内線 311

教室

春休み 親子クッキング教室



- 期日 三月二十七日（木）
- 時間 午後一時半～四時
- 内容 「春休み！親子で作るパン教室」似顔絵パン、ポケットパン ほか
- 場所 東北電力(株)十日町営業所クッキングスタジオ「えぶろん」
- 募集定員 小学生の親子九組（子供二人まで）※申込者多数の場合抽選
- 参加費 一、〇〇〇円（子供二人の場合は一、五〇〇円）
- 持ち物 エプロン
- 申込締切 三月二十日（木）
- 申し込み 東北電力(株)十日町営業所お客さまセンター
☎52-3107

その他

川西町選挙管理委員会から

川西町長選挙の 日程のお知らせ

選挙管理委員会では、七月九日の任期満了に伴う川西町長選挙の日程を次のとおり決定しました。

- 投票日 平成十五年六月二十二日（日）
- 告示日 平成十五年六月十七日（火）

バス路線が 廃止されます

利用者の減少により平成十五年四月一日以降、岡野町―仙田線、岡野町―山中―仙田線が廃止されます。（平成十五年三月三十一日まで運行します。）
長年ご利用いただきありがとうございました。

■問い合わせ

- 越後柏崎観光バス株式会社
柏崎営業所
☎0257-28-6605
- 岡野町営業所
☎0257-41-2013

一定面積以上の 土地取引には 届出が必要です

国土地利用計画法では、法定面積以上の土地取引を行った場合、土地の所在する市町村を経由して、都道府県知事に届出をすることを義務付けています。

- 届出義務者 権利取得者（売買であれば買主）
- 届出時期 契約締結日（予約を含む）から二週間以内
- 届出場所 土地の所在する市町村役場

■届出事項

- ①土地売買等の当事者
- ②土地の所在
- ③土地の利用目的
- ④土地の対価など
- 法定面積

- ①市街化区域 二、〇〇〇㎡以上
- ②都市計画区域（①を除く）五、〇〇〇㎡以上
- ③都市計画区域外 一〇、〇〇〇㎡以上
- 詳しくは、開発課地域政策係
☎68-3111内線311へ
お問い合わせください。

アップ 役場 No.22

36歳の しゅん工式



二月十七日、総合センターで合同しゅん工式が行われました。

これは、平成十四年度に川西町において実施された投資的事業（いわゆるハード事業）のすべてのしゅん工式を合同で実施したもので、今年は二

七三件、二二億五千万円あまりが対象になりました。（詳しくは、「町政のひろば」No.43をご覧ください）

式そのものは祝宴、アトラクションなどはなく至って簡素で、式典・表彰合わせて一時間あまりで終了しました。こうした形式になったのは川西町では意外に古く、他の市町村に先駆けて昭和四十三年から実施されています。

それまでは、事業ごとにしゅん工式を実施しており、宴会付きのどんちゃんどんちゃか大ごったくで、地域や関係者にとって大きな負担になっていました。

こうした問題を解消するために始められた合同しゅん工式は、今年で三六回を数えるまでになり、川西町における行政改革の先駆けともなっています。

さて、簡素な式典とはいえ、それでも綿密な準備は必要。様々なモノの数や位置を念にチェックして当日を迎えます。ちなみに、準備している職員は、合同しゅん工式が始まった頃には、まだ生まれていませんでした。



雪像コンテスト最優秀賞「夢とロマンパート2」(白進会)

第十七回 かわにし雪まつり 多彩な催し各地で開催

三月一日と二日、第十七回かわにし雪まつりが開催されました。

今年は、メイン会場の総合体育館脇の特設会場のほか、仁田集落や角万寺スキー場で地域有志の主催による催しが行われ、仙田体験交流館でも「キラリ★あいあい祭」が開催されました。

メイン会場には、恒例の「屋台村」が設けられ、「ミニSLの試乗会」や前夜祭の「スノーアートステージ」、「十人十一脚レース」、「大道芸」のほか、子どもたち手作りの「雪上ジャンボかるたとり大会」などが行われ、二日間で約四〇〇〇人の人出がありました。

また、角万寺スキー場では、雪上バギーやスノースクートの試乗体験が、仙田体験交流館では雪上結婚式などユニークな催しが行われ、会場を訪れた人たちは新しい催しを十分に堪能していました。

スノーアートステージでは「ダンス甲子園」「饗宴!雪太鼓」などパワフルな催しが展開されました



個性が光った「なかまの家ダンサーズ」

優秀賞 「タマちゃんにアクセス」
(上野ライスセンター)特別賞 「キラリのハッピーウェディング」
(キラリーズ)



「競演！雪太鼓」で熱演する「和の会」(高柳町)



ユニークな鳴子も効果的でした
The ★ソーラン5 (上野小5年)



「うんまげだの」「そーだろ」売り手も買い手もこの瞬間が
楽しみ(屋台村)



雨の中たくさんの人が集まった大抽選会



楽しいジョークに大人も子供もバカウケの大道芸



平野清之さん、あさこさん



金子多臣一さん、クリスティナ
さん



公道も走ることができる「雪上バギー」
は子どもたちに大人
気(角万寺スキー場)



「飛び込む」ほど
夢中になったジャ
ンボかるたとり



もうすっかり雪まつりの「顔」になったミニSL

10人11脚レース



仮装部門で優勝した「らりほー・らりほー」



圧倒的な速さで優勝した「PITCH」



子供の部優勝の「パワフルスノーマンぎゅうにゅう」

第二十五回 町民スキー大会

第十八回 小学校親善スキー大会

二月二日(日) 中子クロスカントリースキーコース

男子の部

- 小学生4年(1.5 km)
 ①星名 陽太(千手)
 ②羽鳥心之介(千手)
 ③小林 大樹(千手)
 ④南雲 陽介(千手)
 ⑤樫間 颯(千手)
 ⑥関口 優輔(千手)
 ●小学生5年(3 km)
 ①丸山 廉太(千手)
 ②根津 元(上野)
 ③丸山 文央(千手)
 ④村越裕太郎(橋)
 ⑤高橋 大輝(千手)
 ⑥丸山 允央(千手)
 ●小学生6年(3 km)
 ①川崎 茂人(千手)
 ②太田 渉(千手)
 ③中條 和成(仙田)
 ④登坂 拓矢(仙田)
 ⑤稲田 岳(千手)
 ⑥丸山 巧(上野)

女子の部

- 小学生4年(1.5 km)
 ①樋口 真央(仙田)
 ②太田 真世(千手)
 ③蔵品あやか(千手)
 ④橋本 幸(千手)
 ⑤高橋 りほ(千手)
 ⑥畠山亜利紗(千手)
 ●小学生5年(2 km)
 ①丸山瑠衣子(上野)
 ②田口 詩織(橋)
 ③片桐 知美(千手)
 ④高橋 莉子(上野)
 ⑤藤巻 彩佳(橋)
 ⑥平野 遥(千手)
 ●小学生6年(2 km)
 ①樋口 奈央(仙田)
 ②斎喜つぐみ(仙田)
 ③市川ひかる(仙田)
 ④中條 知佳(仙田)
 ⑤高橋 咲希(千手)
 ⑥小川さゆり(千手)

一般の部

- 成年男子(3 km)
 ①太田 正(中央町)

●成年女子(2 km)

- ①川崎 浩子(朝日町)
 ②星名 園江(沖立)
 ③ディナ・フッカー(朝日町)

リレーの部

●小学生男子

- (2 km×3人)
 ①千手ペガサスジャンプ
 太田 渉
 稲田 岳
 川崎 茂人

②トリプルアロー仙田

- 中條 和成
 登坂 裕和
 登坂 拓矢

③千手無敵のわかば

- 丸山 廉太
 丸山 文央
 高橋 大輝

●小学生女子

- (1.5 km×3人)
 ①せんだキングスノーギャル
 斎喜つぐみ
 中條 知佳
 樋口 真央

②SPEED☆センダー

- 樋口 奈央
 登坂 美咲
 市川ひかる

- ③千手Let'sわかば
 片桐 知美
 平野 遥
 丸山 夏織
 ●中学生男女混成
 (3 km×3人)
 ①川西中D
 増田 勇士
 丸山芽衣子
 南雲 革
 ②川西中B
 星名 貴弘
 水品 貴絵
 丸山健志郎
 ③川西中A
 丸山 貴之
 小林友利恵
 田口 清貴



一斉にスタートを切る第1走者(男子リレー)

恒例！

金子さんに
毎日農業記録賞

活動の拠点となる「しづみ工房」で

岩瀬の金子ヒロ子さんが、毎日新聞社主催の第三十回毎日農業記録賞地区入賞を果たされました。

金子さんは、一五枚にわたる原稿用紙に、東京から町の農家に嫁いで来てからこれまでの体験や人生観、道の駅などでの直売活動などを通じて多くの人に地域を知ってもらえるよう取り組む様子などを記録しました。

「地域の女性が互いに手を取り合い、地域との交流も含めて活動することが大切。やらないことには結果がでないし、とにかくじっとしてられないんです。『時の流れに身をまかせ』という感じですね」と活動の原動力について語る金子さんは、早くも次の目標へと目を輝かせていました。



セクシー＆スピーディだった「渡る世間は鬼ばかり」



②

川西町
体育協会

協会加盟団体の紹介

サッカー協会

サッカー協会は、ワールドカップサッカーを機に、子どもたちを始め町民の方々から広くサッカーの楽しさを体験していただく機会を提供したいということから、昨年四月に町内居住の経験者を中心に結成しました。

現在の活動は、子供たちを対象に体力づくりと学校週五日制対応として、毎月第三土曜日のサッカー教室と年二回の大会を商工会、体育協会、学校関係者等のご協力をいただきながら開催しています。

サッカー教室は、毎回二〇人前後の子どもたちが参加し、基本技術とミニ・サッカーゲームを中心に行っています。



団を含め二〇〇人を超える声援の中、はつらつとしたプレーが繰り広げられました。

す。

大会は、十月と二月に行われました。二月に行われた「フットサル大会」は、町内四小学校から低学年、高学年の各部に、六チームずつの参加をいただき、選手九十二人、保護者応援

成績結果及び優秀選手は、次のとおりです。

◎低学年の部

優勝 上野スーパードライ

タイズ（上野小学校）

第二位 Bジャパニーズ

（橘小学校）

第三位 一ねんサルぐみ

（千手小学校）

橘ファイターズ

（橘小学校）

◎高学年の部

優勝 上野アルビレックス

（上野小学校）

第二位 アルビレックス千手

（千手小学校）

第三位 仙田S・W No.1

（仙田小学校）

ザ・アンパンマンズ

（仙田小学校）

◎優秀選手（ベストファイブ）

GK 小林 大樹（千手小学校）

DF 滋野 健人（橘小学校）

DF 田村 祐馬（上野小学校）

FW 南雲 陽介（千手小学校）

FW 丸山菜都美（橘小学校）

平成十五年度も、より充実した教室、大会の開催を心掛けたと考えていますので、大勢の子どもたちの参加をお待ちしております。

●申込み・問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局（電話68-2167）

『アートトリエンナーレ2003大地の芸術祭』 公式グッズ商品に携わる方を募集します！

今年7月20日～9月7日まで十日町広域圏内で開催される『アートトリエンナーレ2003 大地の芸術祭』を盛り上げるアイテムのひとつとして、来訪者への満足感を向上するために公式グッズの商品化及び販売をいたします。つきましては、この公式グッズの開発・製造・販売などに携わり法人・個人を問わず大地の芸術祭を共に盛り上げていただける方々を対象に、下記内容で説明会を開催いたします。ご参集をお願いいたします。



1. 日時 平成15年3月20日(木) 14:00～16:00
2. 会場 十日町情報館 1F 視聴覚ホール
3. 対象 法人・個人を問わず、大地の芸術祭公式グッズに興味のある方はどなたでもご来場ください。
4. 内容 ①開発方針の説明
②グッズ開発に関わる規約について
③販売方法及び流通の基本計画 等
5. その他 座席準備等の都合がございますので、ご来場をご希望の方は下記まで事前にご連絡ください。(当日受付も可能です)

〒948-0036

十日町市大字北新田1番地10

十日町地域広域事務組合企画振興課 担当：斎喜・石沢

TEL 0257-57-2637 FAX 0257-57-2285

耳の病気とめまい

三月三日は、耳の日です。耳には「聴く」ための聴覚系のはたらきと、動作のさい「からだのバランスをとる」平衡系のはたらきの二つがあります。

からだのバランスをつかさどっているのは、内耳にある前庭(ぜんてい)とよばれる部分です。内



フワッとするような感じ、すいこまれるような感じなどがあります。

●めまいがおこったときは、安静が第一

急に激しいめまいに襲われたときは、楽な姿勢で横になることが第一です。そして、

からだをしめつけているようなネクタイ、ベルトなどはゆるめて、からだを楽にします。

めまいの状態がひどく、歩行すらおぼつかないこともあった

り、吐き気や嘔吐などがある場合もありますが、落ち着いて対応しましょう。

たいていの場合、激しいめまいは一過性のことが多く、しばらくすると少しからだを動かせるようになります。そのような状態になったら、専門医を受診しましょう。

めまいがおこってきます。この他、頸椎の異常、血圧の異常、自律神経障害などでもめまいがおこります。
めまいの症状で一番多いのが、天井など周囲の風景がぐるぐるまわるようなめまいです。その次が、からだがふらふらするようなふらつきです。その他、目の前が暗くなるような感じや、なんとなく

善意

(敬称略)

福祉に
小林 松市 (中屋敷)
五万円
小林 栄作 (中仙田)
五万円
星名 四郎 (上野)
五万円

平野 裕哉
戸田 優衣
文治 四郎兼
知子 紀塩
幸一 上野
兒玉 かりん

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

山口 三三 (本人) 仁田
西野 勝榮 (一巳) 発電所通り西
小林 マツエ 72 (榮作) 中仙田
北村 クメ 105 (日出太) 山野田
中村 ミネ 85 (勝) 坪山

うぶ声—おすこやかに

登坂 小雪 正男 岩瀬
高橋 彩香 俊朗 伊友



かわい俳壇

高崎正風選

雀の子我が家の小庭親しめる
手枕に軽き疲れや春の雨
水ぬるむ頃や寝心地起き心地
雪の面のえくぼ深めて寒九雨
餅搗きの音せぬ村となりけり
落ちさうな雲を支へて冬木立
新町新田 若山 向山
納屋走る鼠の気配牙返る
村人の命のダムや返返る
凍解けてダムの余水の溢れきし
上町 高橋 願似

上町 高橋 願似

父やさし母またやさし雛祭
グランドの声の大きく春隣り
雪囲ひ解いて明るき目覚めかな
練馬区 須藤 遊人
公園の春を呼ぶ句碑二十五基
少女の掌受け止めにけり牡丹雪
雪まつり舞台の要花火上ぐ
霜条 星名 星光
才の神空をこがせる火勢かな
漂よえる神酒の匂いや初詣
野口 高橋 波京
ただいまと雪をのせ来しランドセル
何となく暮らし果てたる二月かな
小白倉 江口みゆき
カーテンを開ければ冬木ありにけり
休みなく降る雪見つ一人酒
田中町 石澤 澄代
鬼へ撒く孫の握りし豆三つ
待望の春一番と日記書く
小白倉 田中 優美
連山の浮き立つかにも四温晴れ
暖冬をよろこび合うて茶の仲間
岩瀬 登坂伊智子
年取った故よ炬燵の好きになり

我が庭の梅の見頃となりけり
八王子市 松浦 サク
牡丹雪止んで薄日の射して来し
玄関に飾りし梅を置き替えて
山野田 中條 石平
泣く子抱き上げ節分の鬼なりし
笹やぶに春の陽ざしや磨崖佛
足立区 涌井ハル子
雛壇の花の水替え客を待つ
恋猫のぬっと来て水飲み行けり
野口 村越 由喜
玄関の老梅少し花つけぬ
凍み枯れと思ひしすみれ咲きにけり
霜条 蔵品ハツエ
寸評
・水ぬるむ—水温む頃とは春の陽気になつたことである。「春眠暁を覚えず」とか。快い寝ごちであれば、起きごちもまた快いのである。
・落ちさうな—どんよりといかにも重そうな冬の雲を「落ちそう」とはうまい表現であり、また冬木立が精一杯支えている—というのは面白い。

休日救急医

3月21日 たかき医院
(十日町市土市第5)
☎ 58 - 2361
23日 小林内科医院
(十日町市中条中町)
☎ 52 - 7155
30日 富田医院
(川西町発電所通西)
☎ 61 - 0200
4月 6日 池田医院
(十日町市本町西1)
☎ 52 - 2581
〃 津南病院
(津南町大割野)
☎ 65 - 3161
13日 川西町国保診療所
(川西町高原田)
☎ 68 - 2034

■表紙の写真

商業書道家の平野壮弦さんが、母校川西中学校で授業と講演を行いました。

そのときのスナップです。

既成概念にとらわれないで、「書」を楽しむ世界がそこにはあります。

???クイズです???

さて、平野さんが掲げている紙に書かれているのは、一体何という字でしょう？



<ヒント>

漢字一字です
雄大です

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 3月24日(月)

小さな展覧会

170

千手小学校



「雪だるまつくったよ」
2年生 小堀千里さん



「キラキラマーク」
1年生 中條夏紀さん



「どうぶつとなかよし」
1年生 喜多光兵くん



「なわとびつてむずかしい!」
4年生 中村亜希子さん



「除夜の鐘」
3年生 稲田 萌さん



「からふるな花」
2年生 高橋夏歌さん



「ロングシュート」
6年生 星野誠司くん



「フィッシュワールド」
5年生 丸山夏織さん



「ヤッター! 7段とべた」
4年生 鈴木美紗さん

(4月号は上野小学校です)

松葉荘周辺では、杉の葉で形づくられた「ゆきまつり」の文字がライトアップされ、入り口の道路や斜面に様々なタイプの光が揺れていた。
こうした動きはほかでも見られ、自分たちで楽しみながらその喜びを来訪者とともに分かち合うという「祭り本来の姿」がそこにはある。
こういう光の連鎖は、どんどん広がってほしい。

㊦



今年の雪まつりは、明かりで彩るところが多かった。それも、メインの会場ではなく、道路や施設のまわりを、有志の企画と行動で美しく演出したものだ。
仙田体験交流館周辺では、仙田地区の世帯数と同じ三三八個のキャンドルが灯され、仁田集落周辺の県道沿いにも明かりが点々と輝いていた

ゆきまつり

